

二、西尾等が議会のあいまに武蔵の尻を追ひまわす位の事しか出来ぬにも拘らず西尾一流の宿命的組合利己心のみ徒らに強大なること兵庫工場解決覚書条件がなほ前述に幾多の難關に當面し乍らも厳密して従業員のためになされたる勝を示されたるを以て 淀川工場従業員が總同盟の無能と對比し、總同盟を離反し組合總聯合の旗の下に朝集せんとした事實に狼狽せる焦慮に基づく事

等が、恐らくは、その原因の全部であるらしく、何等その逆宣傳の背後に客觀的、現實的根拠を見出し得ない。見よ！彼等は今や印刷物に、宣傳的暴力行為に演説會等に懸命して、一意組合總聯合の敷き蒸しに狂奔しつゝあるが、所謂「糾彈理由は朝三暮四、その内容を變更し來りつゝあり」而もその非を蔽はんがためには、虚構若くは正反對の事項を創作しつゝ、あるてはな

昭和五年五月九日

を煽動して、組合總聯合大阪聯合會事務所に至らしめ、總同盟組合員二三名は、除にかくれて齎動しつゝありしがたちまち當時事務所に居合はせたる二名の總聯合組合員に発見され、詰問され、胸襟の子を散らすが如く退散し去つたのである。

而も事に先立つ二時間、彼等は、豫め、警官隊並びに新聞社寫真版を動員したる事實に徴して彼等の心事が那邊にありしや多言を要しない所であらう宜なるかな、悲憤せる總聯合組合員に依つて、總同盟大阪聯合會及神戸支部事務所を逆襲、糾問されるや總聯合が、暴力行為を以て非を蔽はんとしたるものも宣傳を開始したのである。然し一休これは、何たる醜狀であらうか!!

我等は、勿論暴力沙汰を是認するものではない。しかし乍ら總同盟の西尾一派の風聲の暴力的齎動はいつにても膺懲するの覺悟を有するものである唯だどこまでも淀川従業員を渦中に捲き込むことを欲せざるものである。頸筋當局は周知の如く所謂大家族温情主義を以てその擧取形態とし表面上絕對第三者の介在をさせてその体面を

互に解決条件の協定案を推蔽し、遂に五十餘名の従業員幹事會の端場一致の承認の上、更に、全従業員に之を傳へて其承認を経て解決条件としての決

西尾一派の裏切行爲!

われ等は鬭争に依つて勝利へ!!

眞に、鐘紡三十六工場四万五千人の従業員の利害を更切る者は誰ぞ!! 認識不足と、組合利己心と中傷と逆宣傳と破廉恥なる強辯と暴力沙汰とを以て、反動團體と相呼應し、体面を細塗するに汲々たる鐘紡當局を牽制して覺書条件の實行を今日尙ほマス〜選延せしめつゝ、あるものは、實に總同盟西尾一派の醜類共ではないか!!

遊英、會社當局は、解決条件の一部に付き今日尙實行を延延しつゝ、ある欺瞞か、後巡かは、會社側の撰ふ處に依るのみ、われ等は、鬭争を通じて之を獲得するのみである。われ〜は、單に組合總聯合と言はず、全日本の労働組合の威信と鐘紡従業員の利害のために、その全生命の玉碎を堪すとも、やるだけの事はやり抜くのだ。

われ等は、今日尙マス〜陣營を強大にしつゝ、鐘紡を監視しつゝ、ある、而もかゝる秋に當つて、總同盟西尾一派の逆宣傳と妄動とは、事實に於て如何なる結果を招來したか。それは畢竟組合の犠牲者を漸増しその鬭争力を減殺し、兵庫工場従業員の利害を抹殺して己が窮地に抱き落すの外何ものもない。

而も西尾一派は「キールド、アップ(絶対無条件降伏)て入場する、京都は全然投げる、ただ淀川工場に付、爭議費用の點だけは、相當考慮してほしい」と本音を吐いて爭議費に専念してゐると傳へられてゐるではないか。かくて、われ〜は、西尾一派の狂態を憎む。然れども淀川従業員諸君の隱忍と不拔の鬭争力に對しては深甚の敬意を表しこれと協力を辭せざるものたる事を宣言する。

日本労働組合總聯合神戸聯合會

鐘紡兵庫工場争議團